

平成24年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の概要



平成25年12月10日
千葉県教育庁教育振興部
指導課生徒指導室
043-223-4054

本調査は、児童生徒の生徒指導上の諸問題の現状を把握し、今後の施策の推進を目的に毎年実施されている文部科学省所管の統計調査です。

本概要は、暴力行為、いじめ、公立小・中学校の不登校、公立高等学校の長欠・中途退学、自殺に関する平成24年度調査の本県分（千葉市を含む）を取りまとめたものです。

1 調査項目及び対象

- (1) 暴力行為
県内全公立小・中・高等学校
- (2) いじめ
県内全公立小・中・高等学校及び特別支援学校
- (3) 小学校及び中学校における不登校の状況等
県内全公立小・中学校
- (4) 高等学校における長期欠席の状況等
県内全公立高等学校
- (5) 高等学校における中途退学者数等の状況
県内全公立高等学校
- (6) 自殺
県内全公立小・中・高等学校

2 調査対象期間

平成24年4月1日から平成25年3月31日までの1年間

3 調査結果の概要

(1) 小・中・高等学校における暴力行為の発生件数は2, 887件で、前年度の3, 083件より196件減少。

ア 校種別発生件数

小学校における発生件数は546件で、前年度の539件より7件増加している。

中学校における発生件数は2, 056件で、前年度の2, 245件より189件減少している。

高等学校における発生件数は285件で、前年度の299件より14件減少している。

イ 形態別発生件数

(ア) 対教師暴力

小学校における発生件数は80件で、前年度の83件より3件減少している。中学校における発生件数は212件で、前年度の258件より46件減少している。高等学校における発生件数は20件で、前年度の21件より1件減少している。

(イ) 生徒間暴力

小学校における発生件数は376件で、前年度の341件より35件増加している。中学校における発生件数は1,196件で、前年度の1,216件より20件減少している。高等学校における発生件数は174件で、前年度の177件より3件減少している。

(ウ) 対人暴力

小学校における発生件数は4件で、前年度の17件より13件減少している。中学校における発生件数は73件で、前年度の57件より16件増加している。高等学校における発生件数は8件で、前年度の17件より9件減少している。

(エ) 器物損壊

小学校における発生件数は86件で、前年度の98件より12件減少している。中学校における発生件数は575件で、前年度の714件より139件減少している。高等学校における発生件数は83件で、前年度の84件より1件減少している。

(2) 小・中・高等学校・特別支援学校におけるいじめの認知件数は20,687件で、前年度の7,378件より13,309件増加。

ア 校種別認知件数

小学校における認知件数は14,175件で、前年度の3,672件より10,503件増加している。

中学校における認知件数は5,916件で、前年度の3,556件より2,360件増加している。

高等学校における認知件数は565件で、前年度の138件より427件増加している。

特別支援学校における認知件数は31件で、前年度の12件より19件増加している。

(3) 小学校における不登校児童数は、856人で前年度より42人減少し、全児童に対する割合は0.26%で0.01ポイント減少。

中学校における不登校生徒数は3,734人で前年度より145人減少し、全生徒に対する割合は2.42%で0.09ポイント減少。

※不登校児童生徒数（平成24年度に通算して30日以上欠席した児童生徒のうち「不登校」を理由とする児童生徒数）

ア 不登校になったきっかけと考えられる状況

(ア) 小学校の児童で「不登校となったきっかけと考えられる状況」のうち上位3つは、①無気力（18.6%）、②不安などの情緒的混乱（18.3%）、③親子関係をめぐる問題（11.1%）である。

なお「いじめ」は、1.7%となっている。

(イ) 中学校の生徒で「不登校となったきっかけと考えられる状況」のうち上位3つは、①無気力（21.8%）、②不安などの情緒的混乱（17.5%）、③いじめを除く友人関係をめぐる問題（12.2%）である。

なお「いじめ」は、1.8%となっている。

イ 不登校児童生徒への指導の結果状況

(ア) 小学校の不登校児童で「指導の結果、登校する又はできるようになった児童」の割合は、28.4%である。

指導中の児童のうち、「登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童」の割合は、16.8%である。

(イ) 中学校の不登校生徒で「指導の結果、登校する又はできるようになった生徒」の割合は、31.2%である。

指導中の生徒のうち、「登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった生徒」の割合は、18.4%である。

ウ 「指導の結果登校ようになった児童生徒」に特に効果のあった学校の措置
(ア) 小学校の児童で「『指導の結果登校ようになった児童生徒』に特に効果のあった措置」のうち上位3つは、

①登校を促すため、電話をかけたか迎えに行くなどした(12.3%)

②家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った(11.8%)

③保護者の協力を求めて、家庭関係や家庭生活の改善を図った(8.9%)である。

(イ) 中学校の生徒で「『指導の結果登校ようになった児童生徒』に特に効果のあった措置」のうち上位3つは、

①登校を促すため、電話をかけたか迎えに行くなどした(10.4%)

②家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った(10.1%)

③スクールカウンセラー、相談員等が相談にあたった(9.7%)である。

エ 不登校児童生徒が相談・指導等を受けた学校内外の機関等の結果状況

(ア) 小学校の不登校児童で「相談・指導を受けた機関等の状況」のうち上位3つは、①スクールカウンセラー・相談員等(23.2%)、②養護教諭(16.8%)

③教育委員会所管の機関(教育支援センターを除く)(14.3%)である。

(イ) 中学校の不登校生徒で「相談・指導を受けた機関等の状況」のうち上位3つは、①スクールカウンセラー・相談員等(33.6%)、②養護教諭(17.3%)、③教育支援センター(11.6%)である。

(4) 高等学校における長期欠席生徒数は3,812人で、前年度の3,894人より82人減少した。全生徒に対する割合は3.65%で前年度より0.13ポイント減少。

長期欠席生徒の中で不登校を理由としている生徒数は2,890人で、前年度の3,017人より127人減少し、全生徒に対する割合も2.77%で0.16ポイント減少。

ア 「不登校となったきっかけと考えられる状況」のうち上位3つは、①無気力(36.7%)、②あそび・非行(14.1%)、③不安など情緒的混乱(9.2%)である。

なお「いじめ」は、0.1%となっている。

イ 不登校生徒が「相談・指導等を受けた学校内外の機関等の状況」のうち上位3つは、①養護教諭(16.0%)、②スクールカウンセラー・相談員等(11.1%)、③病院・診療所(3.9%)である。

ウ 長期欠席者3,812人のうち、「病気・けが」は345人で長期欠席者全体に占める割合は9.1%、「経済的理由」は66人で長期欠席者全体に占める割合は1.7%、「不登校」は2,890人で長期欠席者全体に占める割合は75.8%、「その他」は511人で長期欠席者全体に占める割合は13.4%となっている。

エ 長期欠席者で「不登校」を理由としている生徒のうち、全日制の生徒数は1,958人で全日制生徒全体に対する割合は1.9%,定時制の生徒数は932人で、定時制生徒全体に対する割合は25.7%である。

(5) 公立高等学校の中途退学者数は1,563人で、前年度の1,707人より144人減少し、年度当初の在籍者数に占める割合は1.5%であり、前年度の1.7%より0.2ポイント減少。

(※平成24年4月1日の在籍者数104,455人を基準とする中退率)

課程別に見ると、全日制が1,083人で、前年度の1,177人より94人減少し、定時制は480人で、前年度の530人より50人減少している。

ア 課程別の中退率は、全日制が1.1%で前年度の1.2%より0.1ポイント減少し、定時制は13.2%で前年度の14.8%より1.6ポイント減少している。

イ 学年別の中退率は、第1学年では2.3%で前年度の2.4%より0.1ポイント減少し、第2学年では1.5%で前年度の1.7%より0.2ポイント減少し、第3学年では0.6%で前年度の0.7%より0.1ポイント減少している。

ウ 全中退者数に占める学年の割合は、第1学年では51.6%で前年度の48.4%より3.2ポイント増加し、第2学年では31.9%で前年度の35.3%より3.4ポイント減少し、また第3学年では13.6%で前年度の13.7%より0.1ポイント減少している。

エ 中退の理由の上位3つは、①学校生活・学業不適應(50.9%)、②進路変更(22.6%)、③学業不振(12.9%)である。

(ア)「学校生活・学業不適應」の内訳として上位3つは、①もともと高校生活に熱意がない(47.1%)、②授業に興味がない(17.8%)、③人間関係がうまく保てない(14.7%)である。

(イ)「進路変更」の内訳として上位3つは、①就職を希望(63.2%)、②別の高校への入学を希望(20.4%)、③その他(9.1%)である。

(6) 小・中・高等学校における自殺者数は12人(小1人、中2人、高9人)である。

千葉県の問題行動等の概要

1 暴力行為

校種別 形態・年度	小学校 (件)		中学校 (件)		高等学校 (件)		合 計 (件)		増減		
	学校内	学校外	学校内	学校外	学校内	学校外	学校内	学校外			
対 教 師 力	15年度	5	0	76	0	20	0	101	0	101	-
	16年度	8	0	93	1	23	0	124	1	125	24
	17年度	10	0	89	3	18	0	117	3	120	△ 5
	18年度	20	0	165	0	25	0	210	0	210	90
	19年度	29	1	243	0	23	0	295	1	296	86
	20年度	45	0	279	2	18	0	342	2	344	48
	21年度	64	0	183	0	14	0	261	0	261	△ 83
	22年度	75	2	271	0	30	0	376	2	378	117
	23年度	83	0	244	14	21	0	348	14	362	△ 16
	24年度	80	0	211	1	20	0	311	1	312	△ 50
生 徒 間 力	15年度	15	1	210	48	121	16	346	65	411	-
	16年度	24	2	232	36	146	22	402	60	462	51
	17年度	24	4	247	37	153	23	424	64	488	26
	18年度	63	8	370	69	193	22	626	99	725	237
	19年度	132	9	834	104	172	20	1,138	133	1,271	546
	20年度	199	35	969	96	184	19	1,352	150	1,502	231
	21年度	278	15	1,006	137	177	20	1,461	172	1,633	131
	22年度	317	8	1,063	144	179	29	1,559	181	1,740	107
	23年度	317	24	1,088	128	154	23	1,559	175	1,734	△ 6
	24年度	353	23	1,048	148	152	22	1,553	193	1,746	12
対 人 力	15年度	1	1	1	36	0	16	2	53	55	-
	16年度	1	1	0	32	0	8	1	41	42	△ 13
	17年度	0	0	0	35	0	14	0	49	49	7
	18年度	0	0	2	43	0	9	2	52	54	5
	19年度	6	2	9	65	0	13	15	80	95	41
	20年度	4	7	10	53	2	12	16	72	88	△ 7
	21年度	11	1	23	74	0	15	34	90	124	36
	22年度	7	3	14	56	0	18	21	77	98	△ 26
	23年度	15	2	9	48	0	17	24	67	91	△ 7
	24年度	2	2	8	65	0	8	10	75	85	△ 6
器 物 損 壊	15年度	28	-	206	-	64	-	298	-	298	-
	16年度	23	-	177	-	61	-	261	-	261	△ 37
	17年度	16	-	279	-	68	-	363	-	363	102
	18年度	37	-	349	-	50	-	436	-	436	73
	19年度	46	-	652	-	64	-	762	-	762	326
	20年度	40	-	1,051	-	75	-	1,166	-	1,166	404
	21年度	86	-	821	-	57	-	964	-	964	△ 202
	22年度	109	-	801	-	54	-	964	-	964	0
	23年度	98	-	714	-	84	-	896	-	896	△ 68
	24年度	86	-	575	-	83	-	744	-	744	△ 152
合 計	15年度	49	2	493	84	205	32	747	118	865	-
	16年度	56	3	502	69	230	30	788	102	890	25
	17年度	50	4	615	75	239	37	904	116	1,020	130
	18年度	120	8	886	112	268	31	1,274	151	1,425	405
	19年度	213	12	1,738	169	259	33	2,210	214	2,424	999
	20年度	288	42	2,309	151	279	31	2,876	224	3,100	676
	21年度	439	16	2,033	211	248	35	2,720	262	2,982	△ 118
	22年度	508	13	2,149	200	263	47	2,920	260	3,180	198
	23年度	513	26	2,055	190	259	40	2,827	256	3,083	△ 97
	24年度	521	25	1,842	214	255	30	2,618	269	2,887	△ 196

2 いじめ

	小学校 (件)	中学校 (件)	高等学校 (件)	特別支援学校 (件)	合 計 (件)	増減
15年度	874	1,357	51	2	2,284	-
16年度	678	1,193	58	4	1,933	△ 351
17年度	618	1,182	69	2	1,871	△ 62
18年度	4,671	3,745	171	9	8,596	6725
19年度	5,103	3,970	141	12	9,226	630
20年度	3,646	3,244	145	6	7,041	△ 2185
21年度	3,570	2,997	93	14	6,674	△ 367
22年度	4,239	3,931	158	7	8,335	1661
23年度	3,672	3,556	138	12	7,378	△ 957
24年度	14,175	5,916	565	31	20,687	13309

3 不登校

	小学校不登校生徒数		中学校不登校生徒数		合計 (件)	増減
	不登校児童数 (人)	出現率 (%)	不登校生徒数 (人)	出現率 (%)		
15年度	848	0.26	4,085	2.61	4,933	-
16年度	764	0.23	3,992	2.62	4,756	△ 177
17年度	776	0.23	4,091	2.72	4,867	111
18年度	821	0.25	4,190	2.72	5,011	144
19年度	819	0.25	4,363	2.89	5,182	171
20年度	811	0.24	4,340	2.87	5,151	△ 31
21年度	852	0.26	4,247	2.77	5,099	△ 52
22年度	871	0.26	4,182	2.74	5,053	△ 46
23年度	898	0.27	3,879	2.51	4,777	△ 276
24年度	856	0.26	3,734	2.42	4,590	△ 187

4 長期欠席の状況等

年度	高等学校					
	生徒数	不登校	不登校率	病氣・経済的・その他	長期欠席	長欠率
20年度	99,616	2,851	2.86	1,672	4,523	4.54
21年度	99,497	2,376	2.39	1,238	3,614	3.63
22年度	101,647	2,506	2.47	1,178	3,684	3.62
23年度	102,897	3,017	2.93	877	3,894	3.78
24年度	104,388	2,890	2.77	922	3,812	3.65

5 中途退学者

年 度	中退率	全日制	定時制	合計	増減
15年度	2.50%	2,280	545	2,825	-
16年度	2.40%	2,162	423	2,585	△ 240
17年度	2.40%	2,105	488	2,593	8
18年度	2.42%	2,006	483	2,489	△ 104
19年度	2.36%	1,936	442	2,378	△ 111
20年度	2.19%	1,695	490	2,185	△ 193
21年度	1.75%	1,305	440	1,745	△ 440
22年度	1.62%	1,157	494	1,651	△ 94
23年度	1.66%	1,177	530	1,707	56
24年度	1.50%	1,083	480	1,563	△ 144

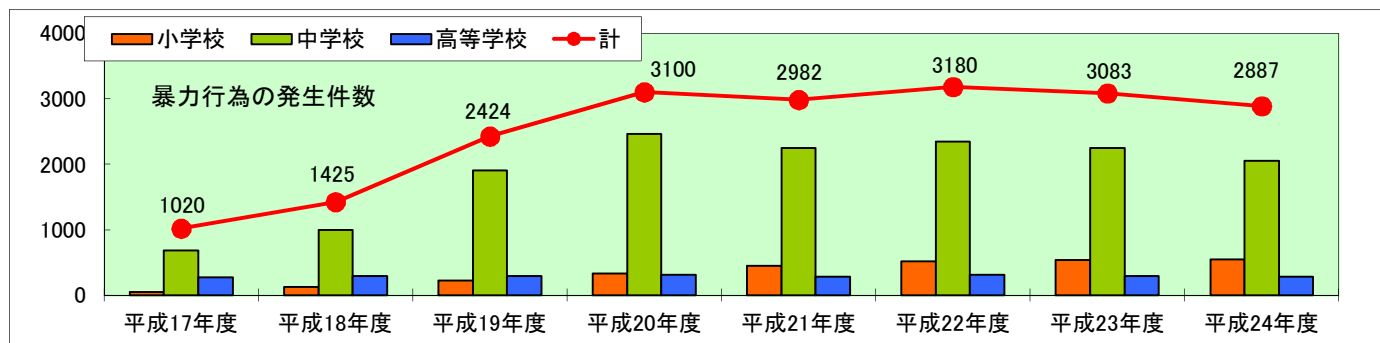
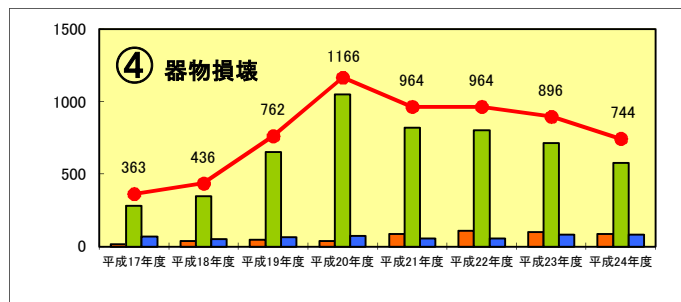
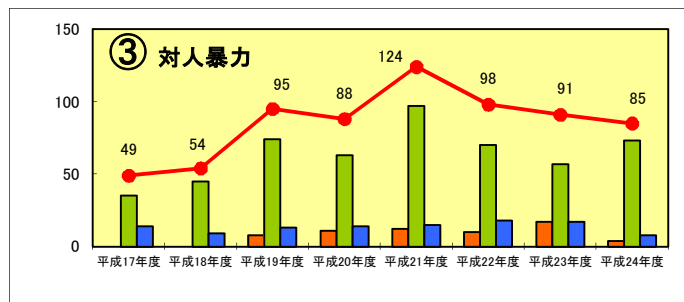
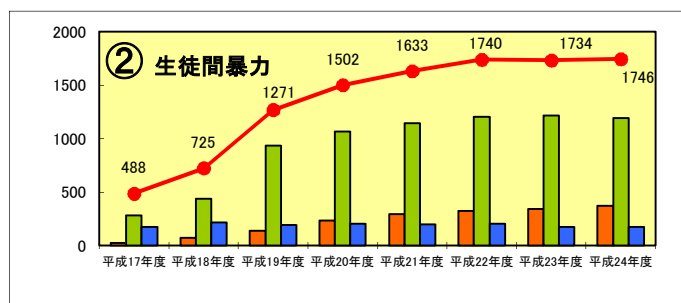
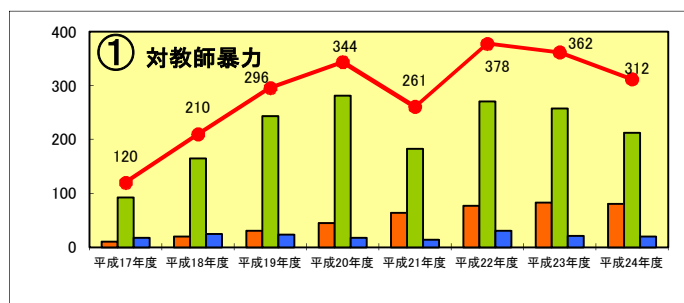
6 自殺

年 度	小学校	中学校	高等学校	合計
15年度	0	0	4	4
16年度	0	1	5	6
17年度	0	1	4	5
18年度	0	3	6	9
19年度	0	0	3	3
20年度	0	3	4	7
21年度	0	2	4	6
22年度	0	1	5	6
23年度	0	1	0	1
24年度	1	2	9	12

暴力行為の発生件数(千葉県)

(単位:延べ件数)

年度	学校種別	① 対教師暴力		② 生徒間暴力		③ 対人暴力		④ 器物損壊	小計	計
		校内	校外	校内	校外	校内	校外	校内		
平成17年度	小学校	10		24	4			16	54	1020
	中学校	89	3	247	37		35	279	690	
	高等学校	18		153	23		14	68	276	
平成18年度	小学校	20		63	8			37	128	1425
	中学校	165		370	69	2	43	349	998	
	高等学校	25		193	22		9	50	299	
平成19年度	小学校	29	1	132	9	6	2	46	225	2424
	中学校	243		834	104	9	65	652	1907	
	高等学校	23		172	20		13	64	292	
平成20年度	小学校	45		199	35	4	7	40	330	3100
	中学校	279	2	969	96	10	53	1051	2460	
	高等学校	18		184	19	2	12	75	310	
平成21年度	小学校	64		278	15	11	1	86	455	2982
	中学校	183		1006	137	23	74	821	2244	
	高等学校	14		177	20		15	57	283	
平成22年度	小学校	75	2	317	8	7	3	109	521	3180
	中学校	271		1063	144	14	56	801	2349	
	高等学校	30		179	29		18	54	310	
平成23年度	小学校	83		317	24	15	2	98	539	3083
	中学校	244	14	1088	128	9	48	714	2245	
	高等学校	21		154	23		17	84	299	
平成24年度	小学校	80		353	23	2	2	86	546	2887
	中学校	211	1	1048	148	8	65	575	2056	
	高等学校	20		152	22		8	83	285	

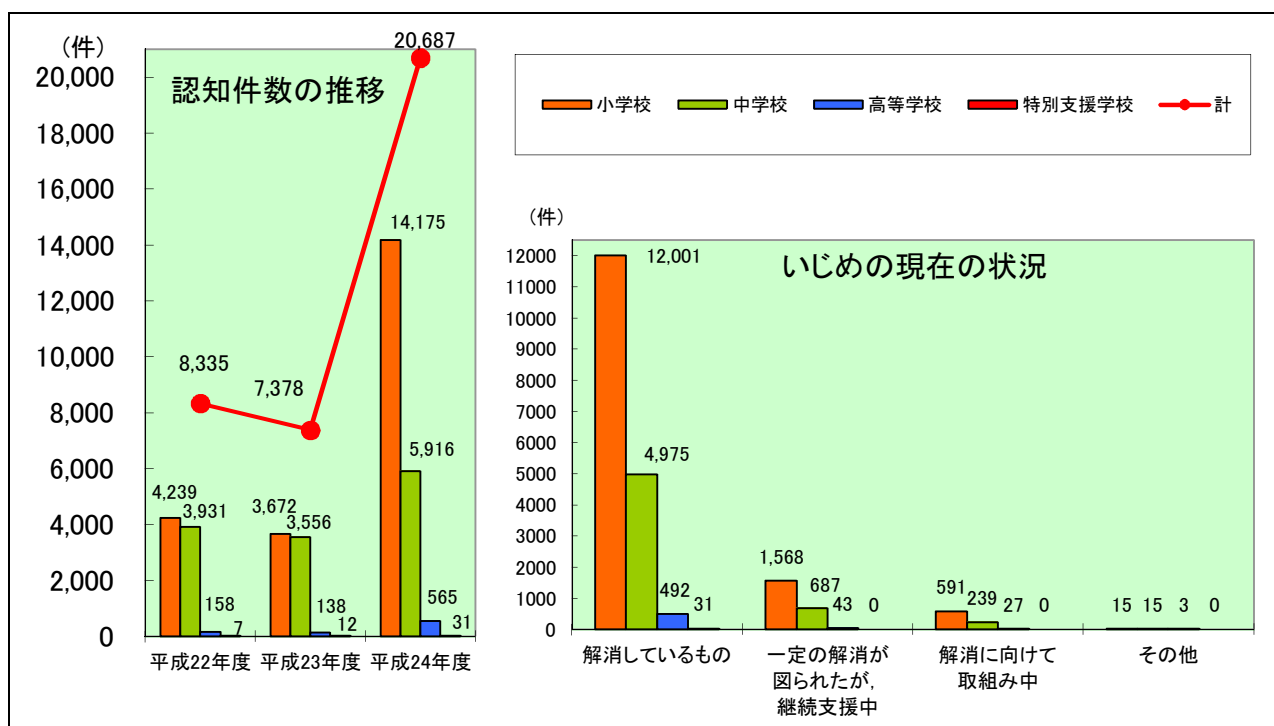


※ 暴力行為の定義(平成19年度一部改訂)

「暴力行為」とは、「自校の児童生徒が、故意に有形力(目に見える物理的な力)を加える行為」をいい、被暴力行為の対象によって、「対教師暴力」(教師に限らず、用務員等の学校職員も含む)、「生徒間暴力」(何らかの人間関係がある児童生徒同士に限る)、「対人暴力」(対教師暴力、生徒間暴力の対象者を除く)、学校の施設・設備等の「器物損壊」の四形態に分ける。ただし、家族・同居人に対する暴力行為は、調査対象外とする。

いじめの認知状況（千葉県）

	区 分	公立学校 総数	うち認知校数及び 割合（％）		認知件数	増減【％】	一校平均 件数
			校数	割合			
小学校	平成22年度	847	497	58.7%	4,239	—	5.0
	平成23年度	838	444	53.0%	3,672	△567【△13.4%】	4.4
	平成24年度	837	658	78.6%	14,175	10503【286.0%】	16.9
中学校	平成22年度	383	320	83.6%	3,931	—	10.3
	平成23年度	382	311	81.4%	3,556	△375【△9.5%】	9.3
	平成24年度	383	358	93.5%	5,916	2360【66.4%】	15.4
高等学校	平成22年度	153	49	32.0%	158	—	1.0
	平成23年度	149	57	38.3%	138	△20【△12.7%】	0.9
	平成24年度	149	79	53.0%	565	427【309.4%】	3.8
特別 学校支 援	平成22年度	35	3	8.6%	7	—	0.2
	平成23年度	34	6	17.6%	12	5【71.4%】	0.4
	平成24年度	35	9	25.7%	31	19【158.3%】	0.9
計	平成22年度	1,418	869	61.3%	8,335	—	5.9
	平成23年度	1,403	818	58.3%	7,378	△957【△11.5%】	5.3
	平成24年度	1,404	1,104	78.6%	20,687	13309【180.4%】	14.7



※ いじめの定義（平成18年度一部改訂）

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うものとする。

「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

平成24年度 公立小中学校の不登校の状況について

1 小中学校における不登校児童生徒数の変遷

区分	年度	学校数	全児童生徒数(人)	不登校児童生徒数(人)	前年度との不登校数の差(人)	全児童生徒に対する割合(%)	前年度との割合の差
小学校	平成12年度	860	329,973	904		0.27	0.00
	平成13年度	860	327,851	831	-73	0.25	-0.02
	平成14年度	859	327,455	839	8	0.26	0.01
	平成15年度	859	329,643	848	9	0.26	0.00
	平成16年度	859	329,922	764	-84	0.23	-0.03
	平成17年度	858	331,897	776	12	0.23	0.00
	平成18年度	855	333,374	821	45	0.25	0.02
	平成19年度	854	332,846	819	-2	0.25	0.00
	平成20年度	850	334,308	811	-8	0.24	-0.01
	平成21年度	845	333,929	852	41	0.26	0.02
	平成22年度	847	333,188	871	19	0.26	0.00
	平成23年度	838	331,232	898	27	0.27	0.01
平成24年度	837	325,557	856	-42	0.26	-0.01	
中学校	平成12年度	385	172,422	4,541		2.63	0.24
	平成13年度	385	167,559	4,629	88	2.76	0.13
	平成14年度	385	161,781	4,301	-328	2.66	-0.10
	平成15年度	385	156,398	4,085	-216	2.61	-0.05
	平成16年度	384	152,280	3,992	-93	2.62	0.01
	平成17年度	382	150,490	4,091	99	2.72	0.10
	平成18年度	383	149,670	4,190	99	2.80	0.08
	平成19年度	384	150,894	4,363	173	2.89	0.09
	平成20年度	385	151,289	4,340	-23	2.87	-0.02
	平成21年度	383	153,337	4,247	-93	2.77	-0.10
	平成22年度	383	152,764	4,182	-65	2.74	-0.03
	平成23年度	382	154,643	3,879	-303	2.51	-0.23
平成24年度	383	154,563	3,734	-145	2.42	-0.09	
合計	平成12年度	1245	502,395	5,445		1.08	0.07
	平成13年度	1245	495,410	5,460	15	1.10	0.02
	平成14年度	1244	489,236	5,140	-320	1.05	-0.05
	平成15年度	1244	486,041	4,933	-207	1.01	-0.04
	平成16年度	1243	482,202	4,756	-177	0.99	-0.02
	平成17年度	1240	482,387	4,867	111	1.01	0.02
	平成18年度	1238	483,044	5,011	144	1.04	0.03
	平成19年度	1238	483,740	5,182	171	1.07	0.03
	平成20年度	1235	485,597	5,151	-31	1.06	-0.01
	平成21年度	1228	487,645	5,099	-52	1.05	-0.01
	平成22年度	1230	485,952	5,053	-46	1.04	-0.01
	平成23年度	1220	485,875	4,777	-276	0.98	-0.06
平成24年度	1220	480,120	4,590	-187	0.96	-0.02	

2 平成24年度 学年別不登校児童生徒数

【小学校】

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
24年度男子	23	36(4)	55(11)	90(26)	124(38)	155(44)	483(123)
24年度女子	21	20(7)	42(15)	62(24)	108(29)	120(48)	373(123)
24年度合計	44	56(11)	97(26)	152(50)	232(67)	275(92)	856(246)

【中学校】

区分	1年	2年	3年	合計
24年度男子	402(136)	734(312)	821(478)	1957(926)
24年度女子	416(133)	668(325)	693(425)	1777(883)
24年度合計	818(269)	1402(637)	1514(903)	3734(1809)

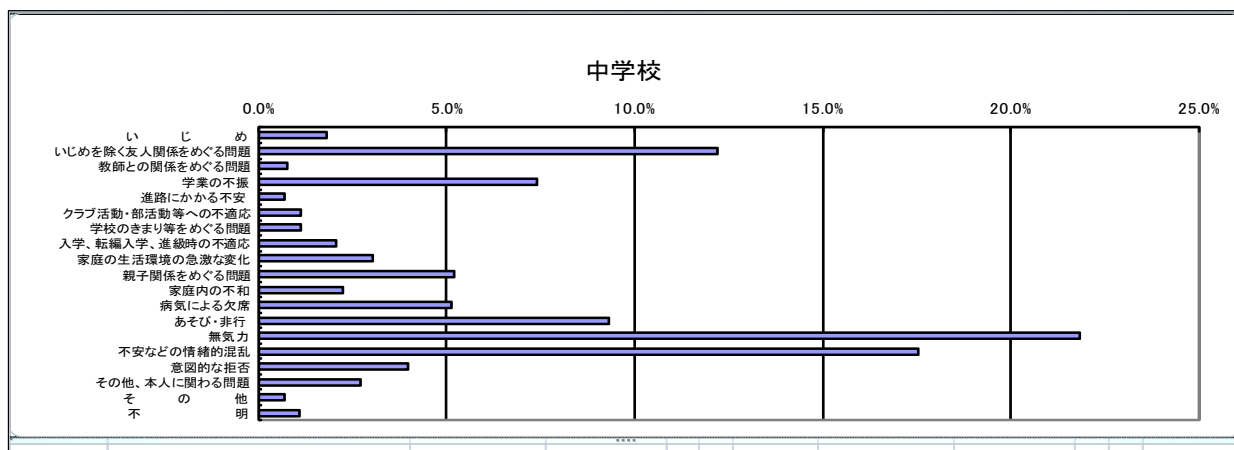
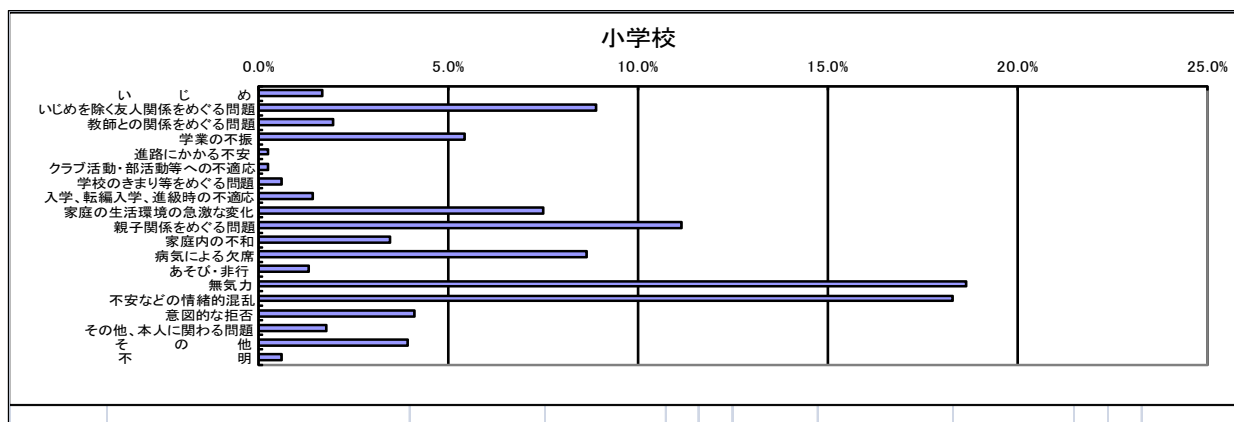
※()内は前年度から不登校の状態(30日以上)が継続している児童生徒の人数。中学1年生については平成23年度における小学校6年生の不登校児童生徒の人数。

3 不登校児童生徒の在籍学校数

区分	学校総数(校)	不登校在籍学校数(校)
小学校		399
中学校		361
合計	1,220	760

4 不登校となったきっかけと考えられる状況

区分	小学校			中学校		
	単位(人)	構成比(%)		単位(人)	構成比(%)	
学校生活に起因	いじめ	19	1.7%	79	1.8%	
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	100	8.9%	537	12.2%	③
	教師との関係をめぐる問題	22	2.0%	34	0.8%	
	学業の不振	61	5.4%	326	7.4%	
	進路にかかる不安	3	0.3%	30	0.7%	
	クラブ活動・部活動等への不応	3	0.3%	49	1.1%	
	学校のきまり等をめぐる問題	7	0.6%	50	1.1%	
	入学、転編入学、進級時の不応	16	1.4%	91	2.1%	
家庭生活に起因	家庭の生活環境の急激な変化	84	7.5%	134	3.0%	
	親子関係をめぐる問題	125	11.1%	229	5.2%	③
	家庭内の不和	39	3.5%	99	2.3%	
本人の問題に起因	病気による欠席	97	8.6%	226	5.1%	
	あそび・非行	15	1.3%	410	9.3%	
	無気力	209	18.6%	960	21.8%	①
	不安などの情緒的混乱	205	18.3%	771	17.5%	②
	意図的な拒否	46	4.1%	175	4.0%	
	その他、本人に関わる問題	20	1.8%	119	2.7%	
その他	44	3.9%	30	0.7%		
不明	7	0.6%	48	1.1%		
計	1,122	100%	100%	4,397	100%	100%



5 平成24年度「不登校児童生徒への指導結果状況」

番号	区 分	小 学 校 人数 (%)	中 学 校 人数 (%)	計 人数 (%)
1	指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒	243 (28.4)	1,164 (31.2)	1,407 (30.7)
2	指導中の児童生徒	613 (71.6)	2,570 (68.8)	3,183 (69.3)
	うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童生徒	144 (16.8)	687 (18.4)	831 (18.1)
3	計	856	3,734	4,590

6 平成24年度「指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒」に特に効果のあった学校の措置

番号	区 分	小 学 校		中 学 校		計	
		校数 (%)	順位	校数 (%)	順位	校数 (%)	順位
1	不登校の問題について、研修会や事例研究会を通じて全教師の共通理解を図った。	72 (7.0)		116 (5.3)		188 (5.9)	
2	全ての教師が当該児童生徒に触れ合いを多くするなどして学校全体で指導にあたった	67 (6.5)		149 (6.8)		216 (6.7)	
3	教育相談担当の教師が専門的に指導にあたった。	28 (2.7)		93 (4.3)		121 (3.8)	
4	養護教諭が専門的に指導にあたった。	44 (4.3)		114 (5.2)		158 (4.9)	
5	スクールカウンセラー、相談員等が相談にあたった。	46 (4.5)		211 (9.7)	③	257 (8.0)	
6	友人関係を改善するための指導を行った。	68 (6.6)		132 (6.0)		200 (6.2)	
7	教師との触れ合いを多くするなど、教師との関係を改善した。	86 (8.4)		172 (7.9)		258 (8.0)	
8	授業方法の改善、個別の指導など授業がわかるようにする工夫を行った。	43 (4.2)		77 (3.5)		120 (3.7)	
9	様々な活動の場面において本人が意欲を持って活動できる場を用意した。	74 (7.2)		114 (5.2)		188 (5.9)	
10	保健室等特別の場所に登校させて指導にあたった。	76 (7.4)		199 (9.1)		275 (8.6)	③
11	登校を促すため、電話をかけたたり迎えに行くなどした。	126 (12.3)	①	227 (10.4)	①	353 (11.0)	①
12	家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った。	121 (11.8)	②	221 (10.1)	②	342 (10.7)	②
13	保護者の協力を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った。	91 (8.9)	③	171 (7.8)		262 (8.2)	
14	教育相談センター等の相談機関と連携して相談にあたった。	61 (6.0)		126 (5.8)		187 (5.8)	
15	病院等の治療機関と連携して指導にあたった。	17 (1.7)		53 (2.4)		70 (2.2)	
16	その他	4 (0.4)		11 (0.5)		15 (0.5)	
		1,024		2,186		3,210	

(注) 複数回答を可としている。

7 平成24年度「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」

区 分	小 学 校					中 学 校					計					
	人 数	割合 (%) 計	指導要録上出席扱いの人数	出席扱いにした学校数(校)	通学定期乗車券制度の利用人数	人 数	割合 (%) 計	指導要録上出席扱い(人)	出席扱いにした学校数(校)	通学定期乗車券制度の利用人数	人 数	割合 (%) 計	指導要録上出席扱いの人数	出席扱いにした学校数(校)	通学定期乗車券制度の利用人数	
学校外	(1) ①～⑦の機関等での相談・指導等を受けた実人数	310	(36.2)	164	129	3	861	(23.1)	677	236	27	1171	(25.5)	841	365	30
	① 教育支援センター（適応指導教室）	97	(11.3)	73	60	3	432	③ (11.6)	405	182	17	529	③ (11.5)	478	242	20
	② 教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関（①を除く）	122	③ (14.3)	72	60	0	245	(6.6)	207	85	5	367	(8.0)	279	145	5
	③ 児童相談所，福祉事務所	44	(5.1)	17	15	0	57	(1.5)	27	20	0	101	(2.2)	44	35	0
	④ 保健所，精神保健センター	7	(0.8)	1	1	0	5	(0.1)	2	2	0	12	(0.3)	3	3	0
	⑤ 病院，診療所	41	(4.8)	11	10	0	91	(2.4)	17	9	2	132	(2.9)	28	19	2
	⑥ 民間団体，民間施設	25	(2.9)	9	6	0	48	(1.3)	36	34	3	73	(1.6)	45	40	3
	⑦ 上記以外の機関等	18	(2.1)	2	2	0	11	(0.3)	6	5	0	29	(0.6)	8	7	0
	(2) ①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない人数	546	(63.8)	/	/	/	2873	(76.9)	/	/	/	3419	(74.5)	/	/	/
	(3) (1)，(2)の合計	856	(100.0)	/	/	/	3734	(100.0)	/	/	/	4590	(100.0)	/	/	/
学校内	(4) ⑧，⑨による相談・指導を受けた実人数	306	(35.7)	/	/	/	1659	(44.4)	/	/	/	1965	(42.8)	/	/	/
	⑧ 養護教諭による専門的な指導を受けた人数	144	② (16.8)	/	/	/	647	② (17.3)	/	/	/	791	② (17.2)	/	/	/
	⑨ スクールカウンセラー，相談員等による専門的な相談を受けた人数	199	① (23.2)	/	/	/	1254	① (33.6)	/	/	/	1453	① (31.7)	/	/	/
	(5) 上記⑧，⑨による相談・指導を受けいない人	550	(64.3)	/	/	/	2075	(55.6)	/	/	/	2625	(57.2)	/	/	/
	(6) (4) (5)の合計	856	(100.0)	/	/	/	3734	(100.0)	/	/	/	4590	(100.0)	/	/	/
(7) 上記①～⑦，⑧，⑨による相談・指導等を受けていない人数(学校内外の機関等でまったく相談・指導を受けていない人)	258	(30.1)	/	/	/	1076	(28.8)	/	/	/	1334	(29.1)	/	/	/	

(注) 複数回答を可としている。「割合」は不登校数の中での割合を示す。

平成24年度 公立高等学校の長期欠席の状況について

1-(1) 公立高等学校長期欠席者数(在籍人数は学校基本調査5月1日現在による)

	在籍者数	長期欠席者総数	前年度増減	長期欠席率	前年比
全 日 制	100,757	2,586	-201	2.57	-0.24
定 時 制	3,631	1,226	119	33.76	2.61
全 定 合 計	104,388	3,812	-82	3.65	-0.13

(注)長期欠席者とは、一つの年度間に連続または断続して30日以上欠席した者である。

1-(2) 理由別長期欠席者数

長期欠席の理由	全 日 制 計			定 時 制 計			全 定 合 計		
	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)
病気・けが	295	0.29	11.41	50	1.38	4.08	345	0.33	9.05
経済的理由	23	0.02	0.89	43	1.18	3.51	66	0.06	1.73
不 登 校	1,958	1.94	75.72	932	25.67	76.02	2,890	2.77	75.81
そ の 他	310	0.31	11.99	201	5.54	16.39	511	0.49	13.41
合 計	2,586	2.57	100.00	1,226	33.76	100.00	3,812	3.65	100.00

(注1)出現率とは、理由別長期欠席者数の全生徒数に対する割合である。

(注2)割合とは、理由別長期欠席者数の合計に占める割合である。

2 不登校生徒における前年度の不登校の有無

	有	無	その他	合 計
全 日 制	685	1,197	76	1,958
定 時 制	547	335	50	932
全 定 合 計	1,232	1,532	126	2,890

(注)「その他」は、不登校生徒のうち前年度の不登校の状況が確認できなかった者である。

3-(1) 課程別不登校生徒数

	全日制		定時制		全定合計	
	不登校生徒数	出現率(%)	不登校生徒数	出現率(%)	不登校生徒数	出現率(%)
1学年	547	1.89	/		547	1.89
2学年	631	2.32	/		631	2.32
3学年	540	1.95	/		540	1.95
単位制	240	1.41	932	25.67	1,172	5.67
合計	1,958	1.94	932	25.67	2,890	2.77

3-(2) 不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数

	不登校生徒数	中途退学者数	中退率(%)	原級留置者数	原級留置率(%)
全日制	1,958	561	28.65	47	2.40
定時制	932	279	29.94	14	1.50
全定合計	2,890	840	29.07	61	2.11

4 不登校となったきっかけと考えられる状況(複数回答)

区 分		全日制		定時制		全定合計	
		総数	割合(%)	総数	割合(%)	総数	割合(%)
学校生活に起因	い じ め	4	0.2	0	0.0	4	0.1
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	117	5.5	36	3.9	153	5.0
	教職員との関係をめぐる問題	3	0.1	4	0.4	7	0.2
	学 業 の 不 振	97	4.6	41	4.4	138	4.5
	進 路 に か か る 不 安	49	2.3	8	0.9	57	1.9
	クラブ活動、部活動等への不適應	29	1.4	0	0.0	29	0.9
	学校のきまり等をめぐる問題	21	1.0	20	2.1	41	1.3
	入学、転編入学、進級時の不適應	74	3.5	18	1.9	92	3.0
	小 計	394	18.6	127	13.6	521	17.0
家庭生活に起因	家庭の生活環境の急激な変化	47	2.2	29	3.1	76	2.5
	親子関係をめぐる問題	97	4.6	21	2.2	118	3.9
	家 庭 内 の 不 和	28	1.3	11	1.2	39	1.3
	小 計	172	8.1	61	6.5	233	7.6
本人の問題に起因	病 気 に よ る 欠 席	83	3.9	28	3.0	111	3.6
	あ そ び ・ 非 行	289 ②	13.6	143 ②	15.3	432 ②	14.1
	無 気 力	825 ①	38.9	297 ①	31.8	1,122 ①	36.7
	不 安 な ど 情 緒 的 混 乱	188 ③	8.9	94	10.1	282 ③	9.2
	意 図 的 な 拒 否	75	3.5	108 ③	11.6	183	6.0
	そ の 他 本 人 に 関 わ る 問 題	71	3.3	49	5.2	120	3.9
	小 計	1,531	72.1	719	76.9	2,250	73.6
そ の 他	12	0.6	18	1.9	30	1.0	
不 明	14	0.7	10	1.1	24	0.8	
合 計	2,123	100.0	935	100.0	3,058	100.0	

5 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区 分		全 日 制		定 時 制		全 定 合 計	
		総数	割合(%)	総数	割合(%)	総数	割合(%)
学 校 外	(1)①～⑦の機関等での相談・指導を受けた実人数	121	6.2%	20	2.1%	141	4.9%
	指導要録上出席扱いとなった人数	6		1		7	
	①教育支援センター(適応指導教室)	1	0.1%	0	0.0%	1	0.0%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	②教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	7	0.4%	0	0.0%	7	0.2%
	指導要録上出席扱いとなった人数	2		0		2	
	③児童相談所, 福祉事務所	10	0.5%	2	0.2%	12	0.4%
	指導要録上出席扱いとなった人数	4		1		5	
	④保健所, 精神保健福祉センター	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	⑤病院, 診療所	99	③ 5.1%	15	③ 1.6%	114	③ 3.9%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	⑥民間団体, 民間施設	5	0.3%	1	0.1%	6	0.2%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	⑦上記以外の施設	2	0.1%	2	0.2%	4	0.1%
指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0		
(2)①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない人数	1,602	81.8%	775	83.2%	2,377	82.2%	
(3)不明	235	12.0%	137	14.7%	372	12.9%	
(4) (1)～(3)の合計	1,958	100.0%	932	100.0%	2,890	100.0%	
学 校 内	(5) ⑧, ⑨による相談・指導等を受けた実人数	452	23.1%	177	19.0%	629	21.8%
	⑧養護教諭による専門的な指導を受けた人数	349	① 17.8%	114	① 12.2%	463	① 16.0%
	⑨SC, 相談員等による専門的な相談を受けた人数	240	② 12.3%	82	② 8.8%	322	② 11.1%
	(6)上記⑧, ⑨による相談・指導等を受けていない人数	1,506	76.9%	755	81.0%	2,261	78.2%
	(7) (5), (6)の合計	1,958	100.0%	932	100.0%	2,890	100.0%

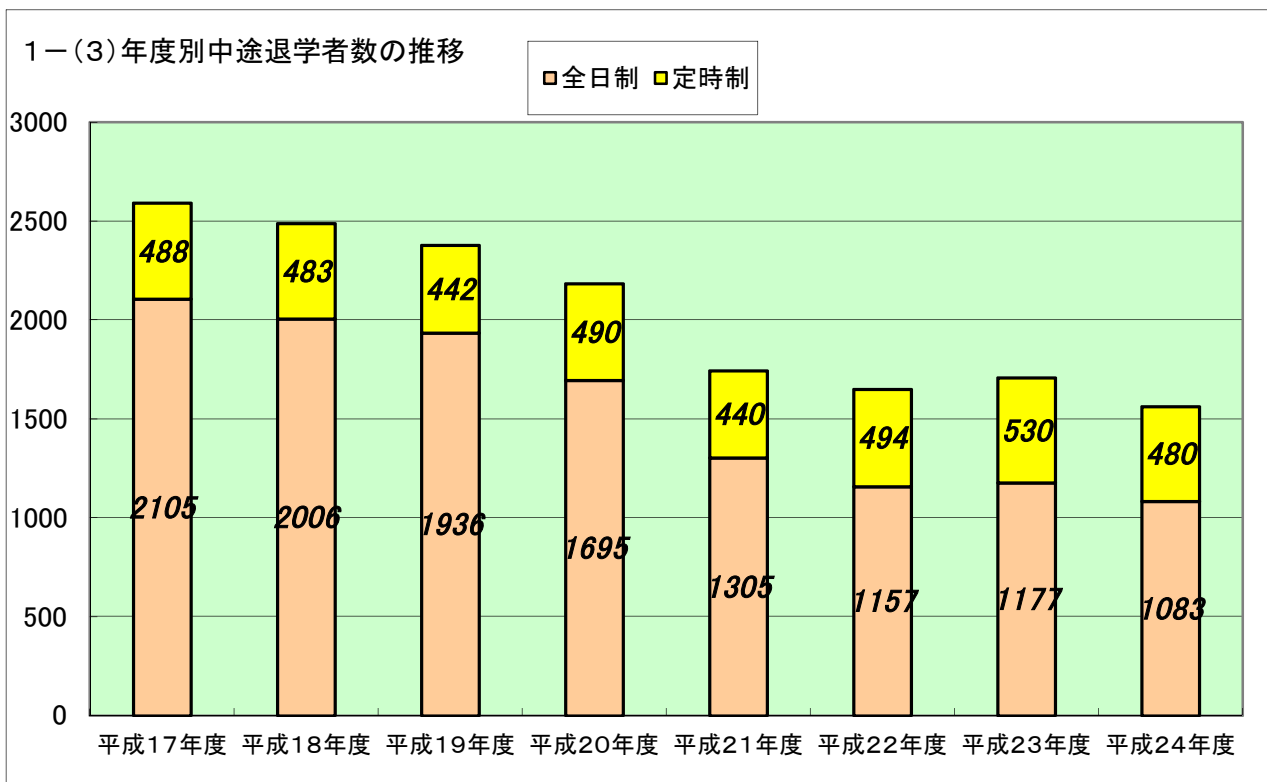
平成24年度 公立高等学校の中途退学者の状況について

1-(1) 公立高等学校中途退学者数(在籍者数は、4月1日現在による)

	在籍者数(H24/4/1現在)	中途退学者総数	前年増減	中退率(%)	前年比(%)
全日制	100,812	1,083	-94	1.07	-0.11
定時制	3,643	480	-50	13.18	-1.64
全定合計	104,455	1,563	-144	1.50	-0.16

1-(2) 中途退学者(人数)・中途退学率(%)の推移

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
全日制	中退者数	2,105	2,006	1,936	1,695	1,305	1,157	1,177	1,083
	中退率	2.04	2.00	1.97	1.75	1.35	1.18	1.18	1.07
定時制	中退者数	488	483	442	490	440	494	530	480
	中退率	18.34	18.20	15.88	16.13	13.61	14.18	14.82	13.18
全定合計	中退者数	2,593	2,489	2,378	2,185	1,745	1,651	1,707	1,563
	中退率	2.44	2.42	2.36	2.19	1.75	1.62	1.66	1.50



2-(1) 学年別中途退学者数(全日制)

学年	在籍者数 (4/1現在a)	中退者数(b)	中退率 (b/a %)	中退率 前年比 (%)	学年割合 (%)	学年割合 前年比 (%)
1	34,624	587	1.70	-0.02	54.2	5.0
2	32,825	361	1.10	-0.24	33.3	-5.6
3	33,363	135	0.40	-0.04	12.5	0.6
合計	100,812	1,083	1.07	-0.11	100.0	

2-(2) 学年別中途退学者数(定時制)

学年	在籍者数 (4/1現在a)	中退者数(b)	中退率 (b/a %)	中退率 前年比 (%)	学年割合 (%)	学年割合 前年比 (%)
1	1,172	220	18.77	-2.25	45.8	-0.8
2	974	138	14.17	0.59	28.8	1.4
3	923	77	8.34	-2.76	16	-1.7
4	574	45	7.84	-1.21	9.4	1.1
合計	3,643	480	13.18	-1.64	100.0	

2-(3) 学年別中途退学者数(全・定 合計)

学年	在籍者数 (4/1現在a)	中退者数(b)	中退率 (b/a %)	中退率 前年比 (%)	学年割合 (%)	学年割合 前年比 (%)
1	35,796	807	2.25	-0.12	51.6	3.2
2	33,799	499	1.48	-0.23	31.9	-3.4
3	34,286	212	0.62	-0.10	13.6	-0.1
4	574	45	7.84	-1.21	2.9	0.3
合計	104,455	1,563	1.5	-0.16	100.0	

(注)単位制高校に在学する生徒については、平成24年度入学生を第1学年、平成23年度入学生を第2学年、平成22年度入学生を第3学年、平成21年度以前の入学生を第4学年とした。

3 中途退学の理由別割合

中途退学の理由	全日制			定時制			合計			
	総数	割合(%)	前年比(%)	総数	割合(%)	前年比(%)	総数	割合(%)	前年比(%)	
学業不振	169	15.6	3.4	32	6.7	5.4	201	12.9	4.1	
学業不適応	もともと高校生活に熱意がない	303	28.0	2.9	72	15.0	-5.8	375	24.0	0.3
	授業に興味がわかない	88	8.1	-1.0	54	11.3	6.6	142	9.1	1.4
	人間関係がうまく保てない	94	8.7	-0.4	23	4.8	-0.5	117	7.5	-0.4
	学校の雰囲気合わない	40	3.7	-1.7	6	1.3	-1.9	46	2.9	-1.8
	その他	40	3.7	-0.5	76	15.8	5.0	116	7.4	1.1
進路変更	別の高校へ入学を希望	56	5.2	0.0	16	3.3	-1.2	72	4.6	-0.4
	専修・各種学校への入学を希望	7	0.6	-1.5	5	1.0	-0.1	12	0.8	-1.0
	就職を希望	114	10.5	3.4	109	22.7	-4.5	223	14.3	1.0
	高卒程度認定試験を受験希望	10	0.9	-1.7	4	0.8	-0.1	14	0.9	-1.2
その他	22	2.0	0.0	10	2.1	0.4	32	2.0	0.1	
病気が死亡	35	3.2	0.4	8	1.7	-0.9	43	2.8	0.0	
経済的理由	10	0.9	0.1	11	2.3	-0.2	21	1.3	0.0	
家庭の事情	47	4.3	-0.9	31	6.5	0.5	78	5.0	-0.4	
問題行動等	39	3.6	-2.2	10	2.1	-1.1	49	3.1	-1.9	
その他の理由	9	0.8	-0.5	13	2.7	-1.5	22	1.4	-0.8	
合計	1083	100		480	100		1563	100		

※資料中の割合の欄は四捨五入で処理した数値のため、合計と合わない場合がある。